

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュくぼ			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ~ 令和8年 1月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日 ~ 令和8年 1月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・満足度が非常に高く、ご利用者様に安心して楽しく通うことができる場所としてご認識頂けていること。	・日々の療育活動がマンネリ化しないよう新たな活動を採用したり、社会資源を積極的に活用するなど工夫を凝らしている。 ・集団療育をメインとして提供しており、異年齢の利用者様と活動を共にする中で、小学校生活の疑似体験に近い経験を得られるようにしている。	・今後も職員のスキルアップを図ることで、療育活動のクオリティを維持しつつ、より良い活動へと発展させ、多様な経験を得られる療育活動を提供していく。
2	・身体を動かして遊べる遊戯室と、集中して活動に取り組める学習室を完備、さらに階層分けができるため、利用者様のニーズに合わせた支援が可能となっている。	・安全面を考慮した職員配置を行い、利用者様のニーズに合わせ、アクティブに身体を動かす活動と、落ち着いて机に向かう活動の両面を同時に展開することができている。	・ニーズに合わせた対応ができる反面、環境が固定化されてしまうことにより、利用者様のごだわりが強化され、柔軟に対応する力が衰えてしまうリスクがあるため、職員が意図的に環境変化を与えられるような工夫を行っていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会等の開催が未実施であること。	・令和7年6月に開所したため、事業所内での療育活動や、支援体制、職員連携の強化に注力していたため、保護者様向けのイベント等の実施が遅れてしまった。 ・現在、保護者会の開催に向けて準備を進めており、令和8年3月14日（土）に実施予定となり、保護者様へ参加のご案内を送付しております。	・来年度以降は3ヶ月に一度のペースで保護者様も一緒に参加できるイベント（親子遠足など）を企画、提供していきたい。
2	・地域に向けた行事等の開催が未実施であること。	・地域のごみ拾い活動や、公園などの社会資源の活用、地域企業への見学などを実施し、ご利用者様が地域との繋がりを感じられるように工夫しているが、当事業所で行事を企画し、地域の方々をお招きするような活動の実施はできなかつた。	・現状の地域での活動を継続し、地域の方々に当事業所の認知を広げながら繋がりを増やしていきたい。 ・来年度中に地域に向けた行事を開催できるよう準備を進めたい。
3			